

# 報告

## 公明党北海道本部政策懇談会

常任理事・医療政策部長 笹本 洋一

2年ぶりに開催された今回は、一次産業の政治連盟等と医療(医歯薬)ならびに運輸業関係を対象に行われた。

北海道医師会への割当ては、平成27年11月14日(土)、午後2時より約30分間で、ホテル札幌ガーデンパレス2階「白鳥」において行われた。公明党北海道本部からは、稲津久道本部代表(衆議院議員)、横山信一道本部代表代行(参議院議員)、若松謙維道本部顧問(参議院議員)、涌井国夫道本部副代表(札幌市議会議員)、本郷俊史道本部副代表(札幌市議会議員)、安藤邦夫道本部副代表(道議会議員)、森成之道本部幹事長(道議会議員)、阿知良寛美道本部幹事長代行(道議会議員)、福田浩太郎道本部副幹事長(札幌市議会議員)、吉井透道本部副幹事長(道議会議員)、中野渡志穂道本部幹事(道議会議員)、好井七海道本部幹事(札幌市議会議員)、小口智久道本部幹事(札幌市議会議員)、前川隆史道本部幹事(札幌市議会議員)、渡部泰行道本部幹事(札幌市議会議員)、竹内孝代道本部幹事(札幌市議会議員)が、当会からは、長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・伊藤各常任理事、小職および事務局が出席した。

はじめに、横山道本部代表代行より、「最近の党を挙げて取り組んだ成果として、ドクターヘリ導入、ピロリ菌除菌の保険適用がある。これから新たに取

り組むメディカルウイング導入の話題を含め有意義な懇談会となるようよろしくお願いいたします。」との開会挨拶があり、長瀬会長からは「限られた時間の中ではあるが、われわれの要望を聞いていただきたい。」と挨拶した。

要望事項は、Ⅰ - 総論、Ⅱ - 国民皆保険の堅持について(TPP等)、Ⅲ - 地域医療の確保について(地域医療介護総合確保基金への対応等)、Ⅳ - 診療報酬改定について、Ⅴ - 消費税と事業税について、Ⅵ - 救急医療体制の充実・確保について(メディカルウイング等)、Ⅶ - 医療事故調査制度について、Ⅷ - 中学生を対象としたピロリ菌検査と除菌について、Ⅸ - 学校健診について、Ⅹ - 看護職員及び実習施設の確保・充実について、Ⅺ - 看護師等養成所運営費補助金について、以上の各項目について配付資料をもとに小職より(航空医療体制については目黒常任理事より追加説明あり)一括して説明した。

懇談に移り、横山道本部代表代行からの、①ピロリ菌除菌について国として新たに何らかの仕組みを作る必要があるか、②東アジアの中では医療が急激に高度化する中で医療格差が生まれているが、今後、TPPによってどのようになるのか、との質問に対し、長瀬会長より「(①について)ピロリ菌の除菌が保険適用となったことは大変有難いことである。早期発見が重要で、ピロリ菌が健康な細胞を傷つける前に子どものケアをする必要がある。将来を見据えた対策を講じていただければ幸いである。(②について)現在でも患者申出療養制度によって混合診療が一部行われているが、医師会としては全面的な解禁には反対している。普通に生活する国民が経済格差によって受けられない医療が増えていくことのないよう配慮していただかなければならない。」と回答した。

最後に、稲津道本部代表より「来年度の予算編成や税制改正大綱を取りまとめているところであるが、本日承ったことに少しでもお応えしたい。医療介護総合確保基金については、地域医療をしっかりと守るという観点から考えていきたい。また、消費税への対応、看護師確保対策についてももしっかり取り組んでまいりたい。」と発言があり終了した。



—長瀬会長—



—稲津代表—